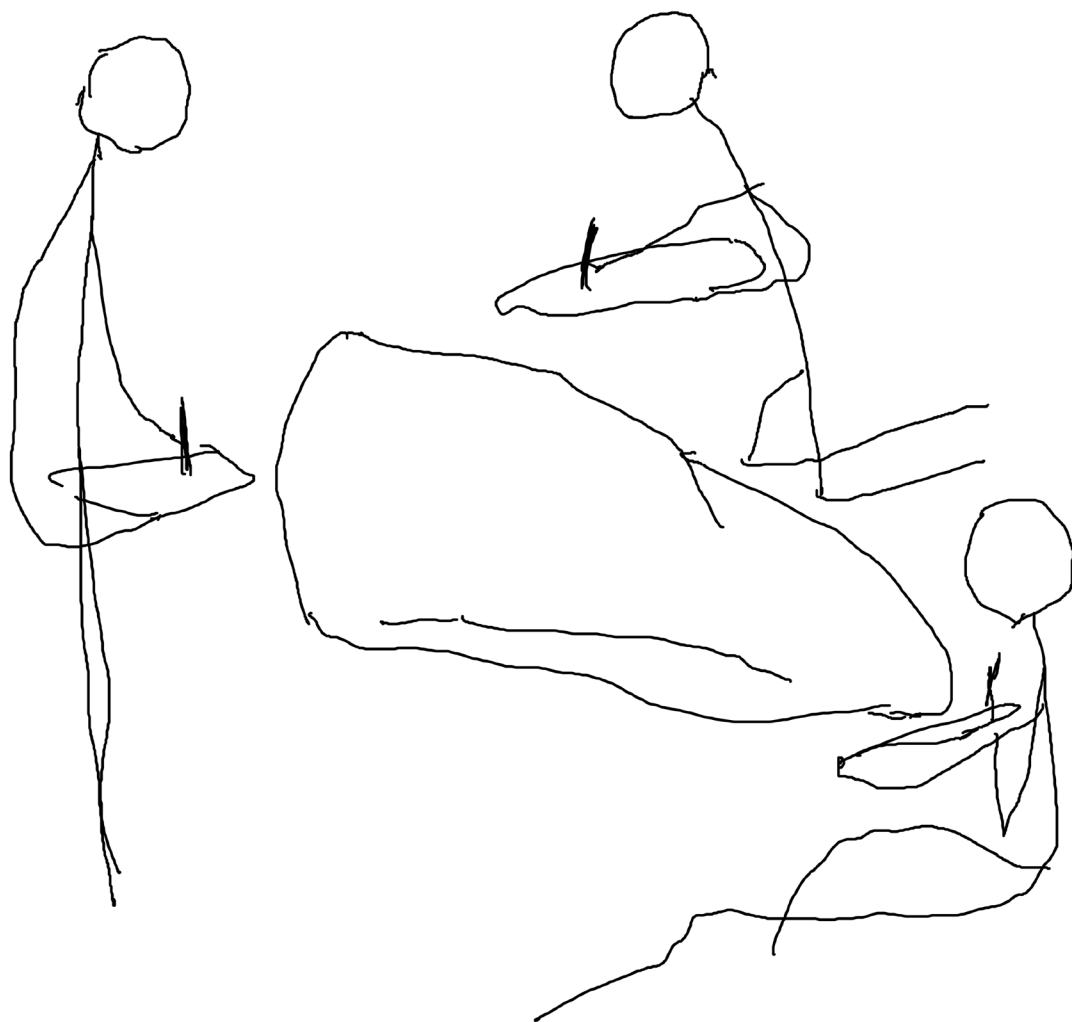


10秒ドローイング

本山ゆかり



絵って、どんなふうを描くと思いますか？

私にとって絵を描くことは、自分の手からどんなものが生まれてくるのかを楽しむことです。

なにか描いてみようと思えば、最初に線が生まれます。文字を書いたり、なぞったり、引きずったり、転がしたり...その線はひとりずつ必ず違って、違うものが生まれるのはとても面白いことです。

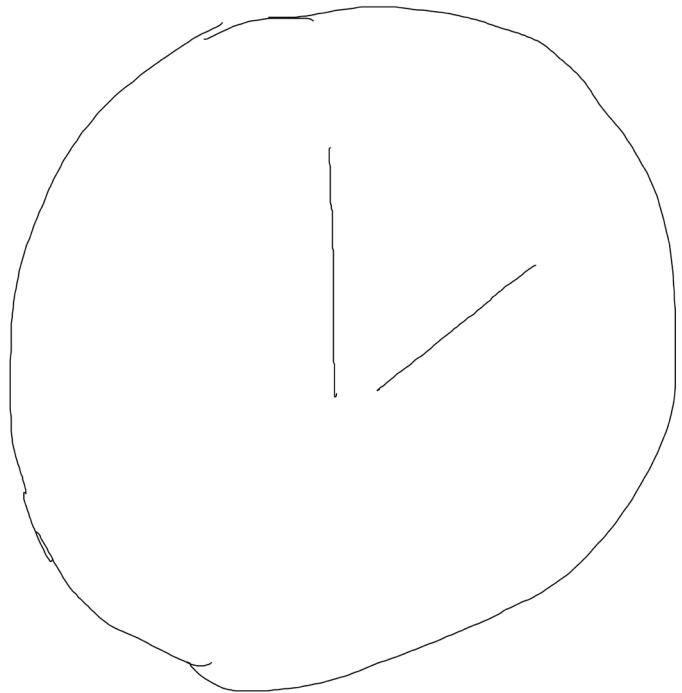
ここには上手い下手はありません。

なぜなら、どんどん生まれてくるものを楽しむことが目的だから！

習うより慣れろで、ともかくやってみましょう！



内容	STEP 1, STEP 2 があります。 STEP 1 のみでも承ります。
心構え (気をつけること)	身体を動かしながら、リラックスしましょう。 「上手い下手」の判断をする隙を自分に与えないようにしましょう。
所要時間	STEP 1 / 60 分 STEP 2 / 90 分
対象年齢	ほとんど全年齢対象。 5 歳 ~70 歳ごろの方々と、この WS を行いました。
人数	2~20 人前後。 人数が多い方が、スポーツのような空気が生まれて盛り上がります。
会場	参加者 5 人に対して最低 15 畳 (27 m ²) ほど。 絵を描きながら移動したりするので、広ければ広いほど適しています。



STEP 1

たくさんの紙、いろんな太さのペンを使って、線を引いてみましょう。

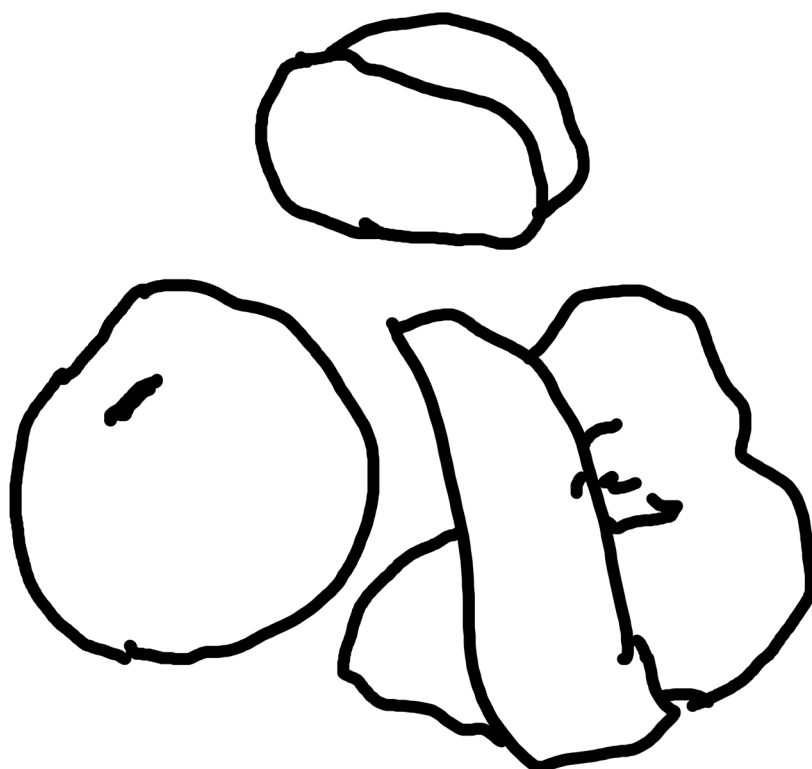
それから、目の前のモチーフ（描かれる対象）を観察して、絵を描いてみます。ただし一枚につき所要時間は10秒！（参加者の皆さんの様子をみながら、もっと短くしたり、ほんの少し長くしたりします。）

私たちの頭の中には「物のイメージ」がたくさんあります。例えば「林檎とは、丸くて上下が少し凹んでいて、短いヘタが付いていて...」というような。でも実際の林檎にはいろんな形がありますよね。傾いていたり、想像よりも角ばっていたり...

そのような「想像と違った、実際の物の形」を観察してみましょう。

観察しながらそれらを線に置き換えるのは、とても難しいことです。全然思い通りになりません。思い通りにならないということは、予想もしなかったかたちが自分の手から生まれてくるということ...それってとても刺激的なことですよね。カウントダウンに合わせて、どんどん描きます。

どんな線が生まれてくるのかを楽しみましょう。



STEP 2

STEP 1 で描いた絵には、とても速いスピードで描かれた線が残っています。今度はその線をゆっくりなぞりながら、作品を作ってみましょう。ここでは絵の具とアクリル板を使いますが、どう使うかは楽しみに！

